

# 緑の国際ボランティア研修 (2014年度)

フィリピン国ボホールでは、急速な人口増加に伴い、森林伐採や焼畑農業を起因とする深刻な土壌侵食や生物多様性の減少が生じています。本団体ではこれまでに住民が中心となった植林活動を継続的に支援し、地域における持続可能な発展に寄与してきました。本研修ではボホール島内の植林地を訪問し、現地住民とともに植林活動を実施しつつ、森林保全の重要性について習得して頂きます。また、レイテ島においては2013年の台風被災からの復興を目指した植林活動に取り組む住民グループの活動について視察します。これらの研修を通して、国際的な視野で森林保全の重要性および開発と自然環境との調和について理解を深めて頂きます。

## 【スケジュール (予定)】

- 3/2 成田発、フィリピン国セブ島へ空路移動、現地集合 \*
- 3/3 セブ島からレイテ島へ船移動  
ビサヤ州立大学訪問および Rainforestation 植林地等の視察  
ビサヤ州立大学学生および教員らとの交流会
- 3/4 環境修復保全機構による台風被災地の復興を目指した植林活動の視察  
研修生による地域住民を対象とした意識調査の実施
- 3/5 ボホール島へ移動(船移動)  
ボホール州立大学訪問および学生や教員らとの交流会  
ボホール州立大学学生らとのディスカッション  
(テーマ:持続可能な開発における植林の意義等)
- 3/6 緑の募金による植林プロジェクト実施地の視察および植林活動  
ボホール州立大学学生らとの2回目ディスカッション  
(テーマ:持続可能な開発における植林の意義等)
- 3/7 ICERD 国際会議出席(ワークショップ、研修成果の発表)
- 3/8 ICERD 国際会議エクスカーショ参加(チョコレートヒルズ国立公園等の視察)
- 3/9 ボホール州立大学キャンパス周辺農林地の視察  
セブ島へ移動(夕方)
- 3/10 セブ島発、成田へ空路移動、現地解散 \*  
成田着(午後)

※ 現地集合・現地解散となりますが、随行スタッフが研修生の渡航便に同行します。

期間: 2015年3月2日(月) ~ 2015年3月10日(火)

定員: 10名

費用: 80,000円(渡航費含む)

\* 詳細は後日ホームページに記載

応募資格: 国際緑化協力に関心があり、NGO活動などに関わっているか、今後関わる意欲のある方

締切: **2014年11月15日(土) 必着**

応募方法: ホームページ([www.erecon.jp](http://www.erecon.jp))をご確認の上、必要書類をメール・郵送にてご提出下さい。



## 実施者

主催: 公益社団法人 国土緑化推進機構  
(<http://www.green.or.jp>)

共催: 特定非営利活動法人 環境修復保全機構  
(<http://www.erecon.jp>)

## お問い合わせ・申込先

特定非営利活動法人 環境修復保全機構 (ERECON)  
担当 : 小林・石山  
住所 : 〒195-0064 東京町田市小野路町 2987-1  
Tel : 042-736-8972 Fax : 042-736-8972  
E-mail : [hq-erecon@nifty.com](mailto:hq-erecon@nifty.com)

緑の国際ボランティア研修  
環境修復保全機構(ERECON)  
Tel: 042-736-8972  
E-mail: [hq-erecon@nifty.com](mailto:hq-erecon@nifty.com)  
[www.erecon.jp](http://www.erecon.jp)

緑の国際ボランティア研修  
環境修復保全機構(ERECON)  
Tel: 042-736-8972  
E-mail: [hq-erecon@nifty.com](mailto:hq-erecon@nifty.com)  
[www.erecon.jp](http://www.erecon.jp)

緑の国際ボランティア研修  
環境修復保全機構(ERECON)  
Tel: 042-736-8972  
E-mail: [hq-erecon@nifty.com](mailto:hq-erecon@nifty.com)  
[www.erecon.jp](http://www.erecon.jp)

緑の国際ボランティア研修  
環境修復保全機構(ERECON)  
Tel: 042-736-8972  
E-mail: [hq-erecon@nifty.com](mailto:hq-erecon@nifty.com)  
[www.erecon.jp](http://www.erecon.jp)

緑の国際ボランティア研修  
環境修復保全機構(ERECON)  
Tel: 042-736-8972  
E-mail: [hq-erecon@nifty.com](mailto:hq-erecon@nifty.com)  
[www.erecon.jp](http://www.erecon.jp)



## … 緑の国際ボランティア研修の主な概要 …



ボホール島でのワークショップ

2013年に発生した巨大台風により甚大な被害を受けたレイテ島では、ココナツ栽培で生計を立てている多くの現地住民が農業被害を受けました。訪問するビサヤ州立大学では現地の学生および教員と交流を図りつつ、キャンパス周辺で取り組む Rainforestation を視察します。さらに、ERECON の取り組む台風被災地の復興を目指した植林活動も視察する予定です。



ビサヤ州立大学



現地小学生と協働での植林活動

本研修では、地震や台風が引き起こす土砂災害等を防止するための持続可能な開発における植林活動の意義について現地大学の学生と議論します。現地大学生と議論した成果はボホール州立大学で開催される「第6回環境に配慮した持続可能な農村開発に関する国際会議」で企画されるワークショップにて発表します。この研修を通して研修生がフィリピン国の森林保全の重要性を理解する事を目指します。

## … 主催・共催団体紹介 …



公益社団法人  
国土緑化推進機構 (NALAPO)

公益社団法人国土緑化推進機構は、国土緑化運動を推進することにより、森林資源の造成、国土の保全及び水資源のかん養並びに生活環境の緑化をはかり、もっと心豊かな国民生活の実現、日本の文化的発展、さらには地球環境の保全に寄与すること及び国際貢献を目的としています。緑の国際ボランティアでは、青少年が緑の募金国際協力事業地のワーキングツアーに参加し、将来、国際緑地協力の場で活躍できる見識豊かな国際ボランティアを養成することを目的としています。(http://www.green.or.jp/ 参照)



特定非営利活動法人  
環境修復保全機構 (ERECON)

特定非営利活動法人環境修復保全機構は、タイ、カンボジア、フィリピンを中心にアジア諸国における「農業的・都市的開発と自然環境との調和」を目指した環境修復保全に取り組んでいます。また、環境教育啓蒙の活動を通して、現地の人々が自然資源を持続的に利用していただけることを目的として活動しています。主に、アグロフォレストリーの導入等による環境修復保全、塩類土壌地域における持続的な農業生産環境の構築、アンダマン海沿岸における津波被災地の修復保全、土壌保全および持続的農業の推進 (フィリピン国) 等の活動を実施しています。(http://www.erecon.jp/ 参照)